

NEWSLETTER No. 77 ISSN 1340-5578 **TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ** Sep.10,2009  
 The Society for Research in Asiatic Music

社団法人 **東洋音楽学会** **会報** 第**77**号

発行 (社)東洋音楽学会  
 事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152  
 ●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: http://wwwsoc.nii.ac.jp/tog/

## 目次

第40回通常総会のお知らせ……………	1	ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ……………	3
総会への出席と書面議決書提出のお願い……………	1	芸術学会関連学会連合公開シンポジウムのテーマ募集について……………	4
第60回大会のご案内……………	2	会員異動……………	5
第27回田邊尚雄賞アンケートのお願い……………	2	図書・資料等の受贈……………	5
谷本一之先生のご逝去……………	3	新刊書籍……………	5
会費納入のお願い……………	3	新発売視聴覚資料……………	6
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ……………	3	編集後記……………	7

### 第40回通常総会のお知らせ

2009年9月1日

社団法人東洋音楽学会会員各位

社団法人東洋音楽学会 会長 金城 厚

#### 第40回通常総会召集状

社団法人東洋音楽学会定款第23条及び第26条の定めに基づき、第40回通常総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席ください。

#### 記

日時 2009年10月17日(日) 16時30分~17時30分

場所 沖縄県立芸術大学 総合教育棟 大講義室

#### 審議事項

第1号議案 2008年度事業報告の件

第2号議案 2008年度収支決算の件

第3号議案 2009年度8月31日現在財産目録および貸借対照表の件

第4号議案 2009年8月31日現在会員異動状況の件

第5号議案 2009年度事業計画の件

第6号議案 2009年度収支予算の件

第7号議案 その他

- ・総会に出席できない正会員の方は、今年度より文部科学省の指導により、従来の「委任状」ではなく、「書面議決書」の提出をお願いします。詳しくは、別項「総会への出席と書面議決書提出のおねがい」をご熟読ください。
- ・上記以外の議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

### 総会への出席と書面議決書提出のお願い

正会員のみならず、総会への出席は社団法人の会員の権利であり、責務でもあります。総会の成立には、会員の3分の1以上の出席が必要です。何卒ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

文部科学省の指導により、今年から、総会に欠席する場合、定足数として出席とみなされるためには、これまでの「委任状」は無効になり、代わって「書面議決書」の提出が求められます。書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書は、9月末日までに学会のホームページに掲載されます。

理事会では、10月始めに「書面議決書」をメールにて配信しますので、欠席する会員は、議案への賛否を記入して返信してください。配信先は、学会に届けてある(会員名簿に掲載の)アドレスです。変更した人は必ずお知らせください。

インターネットを使わない会員には、10月始めに郵送で

議案書をお届けしますので、それに同封する「書面議決書」に賛否を記入して返送してください。

メールを使用するか、郵送を希望するかは、大会プログラムといっしょに届けられる「大会参加申込みハガキ」に希望を記入する欄がありますので、それにてお知らせください。

## 第60回 大会のご案内

東洋音楽学会第60回大会を、同封のプログラムの通り、沖縄県立芸術大学において開催します。

第1日(10月17日)には公開講演会「人の移動と音楽」を行います。沖縄、日本、アジア、その他の諸地域の間の人々の移動や移住にともなう、どのように音楽文化が展開、変容してきたかというテーマをめぐって、専門家である2人の講師の講演をお願いしています。夕方の懇親会では、沖縄県立芸術大学の琉球芸能専攻の学生達による歌と踊りで、大会に参加する皆さまを歓迎したいと思います。

第2日(10月18日)には、3会場において、多分野にわたる計23本の研究発表が行われます。大会終了後には、琉球国時代において祭祀や古典芸能の舞台となってきた首里城周辺の見学(参加希望者のみ)を企画しています。会員の皆さま多数のご参加をお待ちしています。

### ◎出欠の回答

同封の返信はがきの各欄にもれなくご記入のうえ、9月18日(金)必着でご返送下さい。やむを得ず総会に出席できない方は、返信はがき下欄の総会議案書に対する意思表示の方法(メールまたははがき)を選択記入して下さい。詳しくは「総会出席・書面議決書提出のおねがい」をご参照下さい。

### ◎大会参加費、懇親会費、昼食代の納入

必ず同封の振込用紙にて、9月18日(金)までに、ご入金下さい。9月18日までに納入された方には、大会参加費の割引(「早割」)がありますので、早めのご入金をお勧めいたします。払い込みの金額は次の通りです。

#### 大会参加費

正会員 4000円

\*「早割」(9月18日まで) 3000円

学生会員 3000円

\*「早割」(9月18日まで) 2000円

懇親会費 5000円(学生会員2500円)

第2日の昼食代(お弁当とお茶) 700円

☆非会員 第1日公開講演会参加費(資料代) 1000円

- \*同封の振込用紙は大会専用のものですので、学会費の納入にはお使いにならないようにお願いします。
  - \*大会第2日には、ご予約をいただいた方へ昼食用のお弁当(お茶付き)の販売を行います。
  - \*会場周辺に飲食店はありますが、大会第2日・日曜日の営業店は限られます。昼食の予約をお勧めします。予約した方以外への当日の弁当販売は行いませんので、ご了承下さい。
  - \*大学構内に駐車スペースはありませんので、お車でのご越しはご遠慮下さい。
  - \*大会期間中、那覇市周辺では日本青年会議所全国大会が開催されるため、宿泊所予約の困難な状況が予想されます。大会実行委員会では、参加希望の会員の皆さまに、少しでも宿泊所を紹介できるよう、現在大手旅行社と交渉中です。詳しい情報が入り次第お知らせしますので、学会ホームページおよび同封の宿泊関連情報にご注意下さい。
  - \*プログラムの再配布はありませんので、当日は同封のプログラムを忘れずにご持参下さい。
- (第60回大会実行委員会)

## 第27回 田邊尚雄賞アンケートのお願い

### ◇アンケートのお願い

第27回田邊尚雄賞は、下記の要領で選考・授与されます。その選考対象となる会員の業績について、皆様からの情報を募集いたします。会員各位のご協力をお願いいたします。

- 対象期間: 2009(平成21)年1月1日~12月31日。
- アンケート締切:  
2010(平成22)年2月18日(木)必着。  
対象期間中も随時受け付けます。
- アンケート記入事項:  
著者名、著書名、発行年月日、発行所名。  
なお、論文の場合は、以上のほか、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数を記入してください。
- アンケート送り先:  
〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307号  
(社)東洋音楽学会第27回田邊尚雄賞選考委員会

## 谷本一之先生のご逝去

去る7月19日、本学会会長を務められた谷本一之先生が77歳で逝去されました。7月23日に札幌市の博善斎場にて告別式が営まれました。謹んでお悔やみ申し上げます。

なお、今後、機関誌で追悼記事を掲載する予定です。

送付方法:プリントアウトした原稿を郵送すること。ただし、書留郵便にはしないこと。

(直接持参、または、メール添付では受け付けない。)

締め切り:2009年12月22日(火)必着

(機関誌編集委員会)

## 会費納入のお願い

2007年度(2007年9月1日~2008年8月31日)までの会費を未納の方に、請求書と振替用紙を別便でお送りする予定です。請求書の未納金額をお確かめになり、早速お払い込みください。なお本号と行き違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

◇大学院生の会費割引制度をご利用ください

会費の「減額措置」を受けるためには、申し込み用紙(「大学院生会費減額措置願い」と学生証のコピーを7月31日までに、学会事務所に提出してください。

年度をさかのぼっての申請はできません。申し込み用紙は学会のHPからダウンロードするか、学会事務所にご請求下さい。

なお、次年度も減額措置を希望する方は、年度ごとに改めて「減額措置願い」を提出する必要があります。

◇卒論・修論発表を機に入会された皆様へお願い

本学会では、卒論・修論発表は、入会を申込み、年会費を支払った会員の権利と見なされます。つまり、発表を行った時点でその年度の会員として登録されていますので、退会届を提出しない限り、継続的に年会費を支払う義務が生じます。

その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

## 『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第75号(2010年8月刊行予定)の原稿を募集しています。

投稿を希望される方は、本誌最新号に掲載した「投稿規程」および、学会ホームページに掲載している「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください(学会ホームページをご覧になれない場合は、機関誌編集委員会にご請求ください)。

送付先:

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター(京芸大 伝音) 藤田研究室気付 東洋音楽学会機関誌編集委員会

(「機関誌投稿在中」と明記)

## ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ

### 1. 第40回ICTM世界大会報告

今年は隔年で行われているICTM世界大会の開催年にあたり、7月1日から8日に渡って南アフリカのダーバンで大会が行われた。ICTM世界大会は今年で第40回を迎えたが、アフリカでの開催は初めてである。クワズール・ナタール大学(University of Kwazulu-Natal)を会場とした今回の大会では、当大学のアフリカ音楽・舞踊専攻(African Music and Dance Programme)の学生たちが、受付、会場整理、機材準備、さらにオープニング・レセプションでの演奏と、大活躍だった。

今大会は前回のウィーン大会に比べて小規模だったが、それでも41カ国から220人以上の参加者が集まった。個人発表、パネル、フィルムセッションを含め、合わせて60近い分科会が行われ、その中で160近い研究発表が行われた。今大会中ビジネス・ミーティングを行ったICTM内部の研究会(study group)は、Music and Minorities, Musics of East Asia, Anthropology of Music in Mediterranean Cultures, Applied Ethnomusicology, Music of the Turkic Speaking Worldの5つである。前回のウィーン大会後に新たに承認された研究会は、Applied Ethnomusicology, Music and Dance of South Eastern Europe, Music and Dance of Southeast Asiaの3つである。このうちApplied Ethnomusicology研究会は、Music and Minorities研究会とジョイントの会合を2010年7月にベトナムのハノイで開催する予定だ(Musics of East Asia =東アジア音楽研究会については後述)。

総会では、役員選挙の結果が発表された。会長には前期に引き続きAdrienne L. Kaepler(アメリカ合衆国)が、副会長には,Doutora Salwa El-Shawan Castelo-Branco(ポルトガル)とSvanibor Pettan(スロヴェニア)が、通常理事にはJean KidulaとLarry Witzleben(ともにアメリカ合衆国)が新たに選出・承認された。その他の役員は、事務総長がStephen Wild(オーストラリア)、通常理事がUrsula Hemetek(オーストリア)、Don Niles(パプアニューギニア)、Timothy Rice(アメリカ合衆国)、Tan Sooi Beng(マレーシア)、そしてTran Quang Hai(フランス)(敬称略)である。

前例にもれず、今大会でも連日いろいろなパフォーマンスが披露された。なかでも報告者にとって印象的だったのは、



足を前に高く蹴り上げるのが特徴的なズールー戦士の勇壮な踊り、金鉱の労働者の間で生まれたという gumboot dance (直訳で「長靴ダンス」。長靴を叩きながら軽快な足さばきで踊る)、そして Isicathamiya というスタイルの男性アカペラ・コーラスの競演会だ。日本でも有名になった Ladysmith Black Mambazo がこのスタイルの代表的なグループだが、もともと出稼ぎ労働男性の間で始まったという Isicathamiya は今も庶民に根付いており、競演会には 40 近いグループが町中から結集し、夜 8 時から朝 8 時まで夜を徹して歌が繰り広げられる (ICTM メンバーは、ほとんどが深夜 12 時のバスで帰路についた)。

学会中は、ほとんど大学キャンパス外へ出ることがなかったが、学会主催のバスツアーの道中では貧富の差、白人・有色人種の住み分けを目の当たりにし、アパルトヘイトが完全撤廃されてからまだ 15 年しかたっていないのだということ、を、改めて思い起こした。そして、この国で国際学会が平和のうちに開催されたことの意義を改めて感じた。

## 2. 第 41 回 ICTM 世界大会開催について

今回の ICTM 世界大会は、2011 年、カナダのニューファンドランド島 (Newfoundland) のメモリアル大学 (Memorial University) で、7 月 13~19 日に行われる予定である。当地は、Festival 500 という国際的な合唱の祭典の開催地で、2011 年は、ICTM 世界大会に先立つ 7 月 3~10 日に行われることになっている。本大会の詳細は、ICTM のウェブサイト (<http://www.ictmusic.org/ICTM/>) に掲載される予定。

## 3. ICTM 東アジア音楽研究会 第 2 回研究会開催について

ICTM 東アジア音楽研究会 (MEA) は、第 2 回研究会を 2010 年 8 月 25~26 日 (木・金曜日) に、韓国、ソウルの the Academy of Korean Studies で開催する。2006 年に、正式に発足した MEA は、第 1 回研究会を 2007 年 12 月に、中国の上海音楽院にて行った。以来、第 2 回の研究会までずいぶん間があいてしまったが、今後 MEA は、ICTM の世界大会が行われない偶数年度に研究会を催す予定である。第 2 回研究会のプログラム委員長は Chinese University of Hong Kong の Tsai Tsanhuang (ttsai@cuhk.edu.hk)、大会実行委員長は、the Academy of Korean Studies の Sheen Dae-Cheol (sheenone@aks.ac.kr) (敬称略) である。

大会テーマ

1. Recordings and Films of East Asia
2. Reconsidering Sacred and Profane in East Asian Ritual Music

3. Asian Music in the Music Textbooks for Primary and Secondary Schools of East Asian Countries
4. East Asian Soundscape and Cyberspace
5. Intangible Cultural Heritage of East Asia
6. New Research

発表申込締め切り 2009 年 11 月 30 日

第 2 回研究会、および発表申込の詳細は、MEA のウェブサイト (<http://www.gim.ntu.edu.tw/mea/index.html>) に掲載される予定。発表を行うにあたっては MEA の会員になっていることが条件なので、非会員で興味のある方は、MEA のウェブサイトから入会申込書 (Application Form) をダウンロードし、申し込みを行ってください。あるいは、ICTM 担当委員

(早稲田みな子: minako\_waseda@msn.com) に直接問い合わせてください。多くの方の参加を期待しています。

現在の MEA 理事会の構成は、会長が Yingfen Wang (台湾)、副会長が Larry Witzleben (アメリカ合衆国)、事務総長が 早稲田みな子 (日本)、通常理事が Sheen Dae-Cheol (韓国)、Xiao Mei (中国)、そして Um Hae-kyung (英国) です。通常理事の 3 名は、2010 年の第 2 回研究会をもって任期満了となります。2010 年半ばまでに、選挙により新たに 4 名の通常理事が選出され、結果は韓国の研究会で発表されます。選挙の詳細は MEA ウェブサイトにいずれ掲載される予定です。

(早稲田みな子 ICTM 担当委員)

## 藝術学関連学会連合公開シンポジウムの テーマ募集について

本学会が参加する「藝術学関連学会連合」は、芸術に関する専門的研究を目的とする学会が集まって設立した団体で、日本学術会議と連絡をとりつつ、学会相互の情報交換、公開シンポジウムの開催などの活動を行っています。

例年 6 月に公開シンポジウムを開催していますが、来年度のシンポジウムのテーマを募集しています。提案のある方は、派遣委員の金城厚 (k-atsumi@okigei.ac.jp) へ、9 月 25 日までに、申し出てください。

なお、第 1 回から今年の第 4 回までのテーマは「藝術の変貌/藝術学の展開」「『藝術は誰のものか?』—著作権問題を藝術学から考える」「昭和 40 年代の日本における藝術の転換」「藝術とインタラクティビティ」でした。

(委員・金城厚)

## 会員異動

(2009年7月 その他変更は新会員名簿(機関誌別冊)をご覧ください)

- ◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはファクス、E-mail等でも結構です)
- ◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等)
- ◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

## 図書・資料等の受贈

(2009年5月～7月、到着順)

- 『楽器概論』 郡司すみ著 エイデル研究所
- 『楽道』5,6,7月号 正派邦楽会
- 『大阪府の民俗芸能—大阪府民俗芸能緊急調査報告書』
- 『大阪府の宮座』(CD-R付) 大阪府教育委員会
- 『能楽資料センター紀要』No.20 武蔵野大学能楽資料センター
- 『語り、継ぐ。—アイヌ口承文芸の世界』図録 北海道立アイヌ民族文化研究センター／北海道立文学館／北海道大学アイヌ・先住民研究センター
- 『美学論究』第24編 関西学院大学文学部美学研究室
- 『ぎふ民俗音楽』第80号 岐阜県民俗音楽学会
- 『News Letter』No.5 早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム
- 『東方學會報』No.96 (財)東方学会

## 新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

- 『出雲神楽の世界：神事舞の形成』 勝部月子、慶友社、8,000円
- 『「一谷嫩軍記」の歴史的研究：歌舞伎・上演と演出』 李墨、ぺりかん社、9,975円
- 『歌声が聴こえる』 武笠昇、さきたま出版会、2,100円
- 『うたの旅人』 朝日新聞be編集グループ、朝日新聞出版、1,680円
- 『江戸吹き寄せ：せんすのある話3』 荘司賢太郎、創英社、1,785円
- 『NHK 日本の伝統芸能〈2009年度〉：歌舞伎 能・狂言 文楽入門』 日本放送協会、999円
- 『音霊：古賀メロディとともに』 アントニオ古賀、講談社、1,365円
- 『兼常清佐著作集：第6～10巻(音楽教育、音・ことば・科学)』 兼常清佐、蒲生美津子、土田英三郎、川上央、大空社、85,000円
- 『カラー図解和楽器の世界』 西川浩平、河出書房新社、2,100円
- 『河竹黙阿弥：元のもくあみとならん(ミネルヴァ日本評伝選)』 今尾哲也、ミネルヴァ書房、3,150円
- 『キューバ音楽 増補新版』 八木啓代、吉田憲司、青土社、1,995円
- 『金城繁CD写真ブック：唄うことが生きること』田邊順一、沖繩タイムス社、2,500円
- 『近代能楽史の研究：東海地域を中心に』 飯塚恵理人、大河書房、8,600円
- 『源氏物語の宮廷文化：後宮・雅楽・物語世界』 植田恭代、笠間書院、13,000円
- 『高齢者の音楽療法(新訂)』 貫行子、音楽之友社、2,310円
- 『最後の童謡作曲家海沼實の生涯：天才作曲家の一生と名作の誕生秘話』 海沼実、ノースランド出版、1,470円
- 『ザ歌舞伎座：完全保存版』 篠山紀信、坂東玉三郎、講談社、3,990円
- 『篠路村烈々布素人芝居』 橋克依、響文社、1,575円
- 『新編 音楽家の社会史』 西原稔、音楽之友社、2,310円
- 『中世芸能の形成過程：植木行宣芸能文化史論集1』 植木行宣、岩田書院、12,390円
- 『合本 日本伝統音楽の研究』 小泉文夫、音楽之友社、10,500円
- 『手前味噌(新装版)』 中村仲蔵、郡司正勝、青蛙房、5,460円

- 『伝統文化とグローバリゼーション』 笠谷和比古、  
エヌティティ出版、3,990円
- 『東京歌物語』 東京新聞編集局、東京新聞、1,300円
- 『東京落語家名鑑 2009』 瀧口雅仁、小学館、2,100円
- 『童謡・唱歌の旅：感傷旅行1』 北辰堂出版、2,625円
- 『童謡の風景2』 合田道人、村上保、  
中日新聞社開発局出版開発部、1,500円
- 『にっかん飛切落語会名人撰 CD-BOX (全11巻)』  
竹書房版、23,100円
- 『日本のわらべうた：歳事・季節歌編』  
尾原昭夫、文元社、4,515円
- 『日本文化の美と醜：その形式と融合』  
近畿大学日本文化研究所、風媒社、4,200円
- 『日本民謡における拍の伸び縮みと聴取に関する研究』  
松本晴子、閏月社、4,800円
- 『人形有情：吉田玉男文楽芸談聞き書き』  
吉田玉男、宮辻政夫、岩波書店、3,150円
- 『能楽史年表：近世編 中巻』  
鈴木正人、東京堂出版、15,750円
- 『能楽と崑曲：日本と中国の古典演劇をたのしむ』  
赤松紀彦、汲古書院、2,625円
- 『能の集積回路：堀上謙評論・随想集』  
堀上謙、伝芸企画、2,730円
- 『能のデザイン』 青幻舎、1,260円
- 『ハウリン・ウルフ：ブルースを生きた狼の一生』  
ジェイムズ・セグレスト、マーク・ホフマン(新井崇嗣訳)、  
ブルース・インターアクションズ、5,250円
- 『獨道中五十三驛：新橋演舞場弥生花形歌舞伎：猿之助  
十八番の内』 新橋演舞場宣伝部、1,200円
- 『ひばり伝：蒼穹流譚』 齋藤慎爾、講談社、1,890円
- 『琵琶伝来の淵源：琵琶覆手単体の音響計測から、  
伝来の謎を解き明かす』 藤内鶴了、笠間書院、10,500円
- 『風姿花伝・謡曲名作選(日本の古典をよむ：17)』  
表章、小山弘志、佐藤健一郎、小学館、1,890円
- 『フォークソングのすべて(第2版)：プロフェッショナル・  
ユース』 後藤裕、全音楽譜出版社、3,990円
- 『文楽のこころを語る』 竹本住大夫、文藝春秋、629円
- 『ポップ・アフリカ700：  
アフリカン・ミュージック・ディスク・ガイド』  
荻原和也、アルテスパブリッシング、2,625円
- 『美空ひばりという生き方』 想田正、青弓社、1,680円
- 『民族楽器を演奏しよう(学びやぶっく：10)』  
若林忠宏、明治書院、1,260円

- 『名演古典落語 CD BOOK 其の1、2』  
宝島社、各1,260円
- 『明治キワモノ歌舞伎：空飛ぶ五代目菊五郎』  
矢内賢二、白水社、2,625円
- 『読んで愉しむ能の世界』 馬場あき子、神田佳明、堀上謙、  
淡交社、2,100円
- 『六道輪廻』 大谷暢順、講談社、1,575円
- 『ろんだいえん：21世紀落語論』  
三遊亭円丈、彩流社、1,890円
- 『若狭の翁と猿楽能』 山田雄造、風詠社、2,100円

## 新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

### ●DVD

- 『古典落語お稽古つけ三遊亭歌多「饅頭こわい」、林家染二  
「手水廻し」』 エキスプレス、各3,990円
- 『箏：後藤すみ子の世界2』 VZBG-35 3,500円
- 『第57回北野をどり』 京都新聞出版センター、3,990円
- 『東京・邦楽コンクール2008：第5回東京・邦楽コンクール  
本選会ライブ』 VZBG-34 3,500円
- 『落語研究会八代目桂文楽全集』 竹書房、31,920円
- 『落語のいき 第1～4巻 江戸古典落語の真髓』  
小学館、各2,625円

### ●CD

- 『安藤政輝、山本邦山：名手と共演「春の海」カラオケ』  
VZCG-710、1,600円
- 『あんやんていんどう：沖縄サンゴオールスターズ  
with ガレッジセール』 VZCG-707、2,500円
- 『今藤政太郎作品集(五)：能・狂言』 VZCG-698、3,150円
- 『江戸消防記念会第五区木遣り会：江戸木遣り』 KICW-5152
- 『御諏訪太鼓保存会：御諏訪太鼓』 KICW-5197
- 『オムニバス：吟詠』 KICW-5156
- 『葛西雛子保存会：葛西雛子』 KICW-5195
- 『樞山文枝：日本の祭り』 KICW-5182
- 『片岡義道：天台声明』 KICW-5158
- 『歌舞伎』 KICW-5167
- 『歌舞伎：<SP盤復刻>名優たちによる歌舞伎 名場面集』  
COJ-35612、2,000円
- 『京都長刀鉦雛子方連中』 KICW-5190
- 『郷みん's～ふる里 虹の懸け橋』 VZCG-706、1,600円
- 『宮内庁楽部楽友会：雅楽』 KICW-5157
- 『古典芸能(能類)：能楽』 KICW-5154

『桜鉄平：相撲甚句』	KICW-5151	『盆踊り：阿波踊りライヴ』	KICW-5199、2,000円
『佐原囃子保存会：佐原囃子』	KICW-5194	『民謡：全国温泉民謡めぐり(東)(西)』	COCJ-35665～6、各1,800円
『真言宗智山派総本山智積院：真言声明』	KICW-5159	『lift off 福原徹の笛』	VZCG-8419～20、5,000円
『高野右吉(二代目)と秩父社中：秩父屋台囃子』	KICW-5196		
『坪井三郎、古井戸道雄：郡上踊り』	KICW-5200		
『鉄腕アトム・音の世界』	大野松雄、VZCG-712、2,500円		
『高野山の聲明：修正会』	SAMC0201、3,150円		
『鶏鈴囃子方連中』	KICW-5191		
『日本の民謡』	KICW-5146～50、各2,000円		
『日本の音楽・楽器：Edo サウンド』	KICW-5188、2,000円		
『日本の音楽・楽器：お祝い邦楽』	KICW-5173、2,000円		
『日本の音楽・楽器：おわらの風の盆』	KICW-5192、2,000円		
『日本の音楽・楽器：神田囃子』	KICW-5193、2,000円		
『日本の音楽・楽器：義太夫』	KICW-5163、2,000円		
『日本の音楽・楽器：清元』	KICW-5165、2,000円		
『日本の音楽・楽器：小唄』	KICW-5171、2,000円		
『日本の音楽・楽器：Kyoto サウンド』	KICW-5187、2,000円		
『日本の音楽・楽器：尺八』	KICW-5162、2,000円		
『日本の音楽・楽器：Japan サウンド』	KICW-5189、2,000円		
『日本の音楽・楽器：祝吟』	KICW-5155、2,000円		
『日本の音楽・楽器：新内』	KICW-5166、2,000円		
『日本の音楽・楽器：箏曲』	KICW-5161、2,000円		
『日本の音楽・楽器：俗曲』	KICW-5172、2,000円		
『日本の音楽・楽器：常盤津』	KICW-5164、2,000円		
『日本の音楽・楽器：長唄1、2』	KICW-5168～9、各2,000円		
『日本の音楽・楽器：能楽囃子体系(8枚組)』	VZCG-8421～8、24,990円		
『日本の音楽・楽器：端唄』	KICW-5170、2,000円		
『日本の音楽・楽器：琵琶』	KICW-5160、2,000円		
『日本の音楽・楽器：謡曲』	KICW-5153、2,000円		
『長谷川景光：嵯峨天皇の雅楽』	FOCD-20073、2,300円		
『蜂須賀連：阿波踊り』	KICW-5198、2,000円		
『春の海～水の変態：安藤政輝 宮城道雄を弾く』	VZCG-708、3,150円		
『ビクター落語：五代目古今亭志ん生(21)～(23)』	VZCG-699～701、各1,575円		
『ビクター落語：八代目三笑亭可楽(6)』	VZCG-702、1,575円		
『ビクター落語：八代目春風亭柳枝(1)～(3)』	VZCG-703～705、各1,575円		

## 編集後記

◇本号は、第60回大会プログラムと一緒にお届けいたします。大会開催日が例年より少し早く、そのため会報の発行も幾分早まりましたことをご了承ください。

◇那覇での大会では意欲的なプログラムが用意されています。ぜひともご参加ください。ただし、第2ページの実行委員会からのご案内にもありますように、同時期に大きなイベントが那覇市で計画されているために宿泊を探すのが難しいようです。今後の情報にご注意ください。(横井)

## 会報編集委員

理事：高桑いづみ、横井雅子

参事：萩野珠、重田絵美、柴田真希、星野厚子、柳澤久美子、山口かおり